

泉北ニュータウンまちづくりプラットフォーム設立趣意書

泉北ニュータウンは、昭和42年のまちびらきから50年近くが経過し、緑豊かな住環境を有するまちとして成熟してきましたが、社会環境の変化や居住者ニーズの多様化が進むとともに、人口の減少、少子高齢化の進展、住宅や施設の老朽化等の様々な問題が現れています。

このような中、平成22年5月に、堺市において「泉北ニュータウン再生指針」が策定され、それを受けて「泉北ニュータウン再生府市等連携協議会」を設立し、泉ヶ丘駅前地域の活性化や公的賃貸住宅の再生が泉北ニュータウン全体の再生に繋がるとし、平成23年3月に泉ヶ丘駅前地域活性化ビジョン、平成24年3月に「泉北ニュータウン公的賃貸住宅再生計画」（以下、「再生計画」という。）を策定し、取組みを進めてきました。

その後、公的賃貸住宅の建替事業や集約事業の進捗により、多くの活用できる用地の創出が見込まれるなど、新たな動きを踏まえ、若年世代の誘引やエリア価値の向上を目指し、子育て、福祉、就労、商業等の多角的分野のソフト事業も含めた総合的なまちづくりを推進するため、平成29年3月に再生計画の改定を行っております。

その実現に向け、公的賃貸住宅資産を最大限活用し、ソフト・ハード一体型の取組を展開するためには、多様な分野の民間事業者の意見も聞きながら事業スキームの検討を進めることが重要となり、そのため、行政、公的賃貸住宅事業者が民間事業者に幅広く情報を提供し、民間事業者から相談や提案をうけることができる仕組みとして「泉北ニュータウンまちづくりプラットフォーム」を設立することとなりました。

本プラットフォームの取組みが、泉北ニュータウンの活性化につながればと期待しております。是非とも設立趣旨にご賛同いただき、本プラットフォームの活動にご支援、ご協力を賜われますよう、よろしくお願い申し上げます。